

# 病気の早期発見・早期治療に役立っている 無料健康診断制度を守ろう

病気は発見が遅れ、重症になると、本人・家族にとって経済的にも精神的にも大きな負担となります。そして医療費が増えることによって、健康保険事業にも大きな財政負担をもたらします。ですから、これまで40歳以上を対象に無料の基本健診が行われ(当初は30歳以上対象) 病気の早期発見・早期治療に大きな役割を果たしてきました。

## 医療改悪で無料健康診査が存続の危機

ところが自民・公明政権が、来年4月から始めようとしている75歳以上を対象にした「後期高齢者医療制度」(下記)では、基本健診などへの国・都の補助がカットされ、制度の後退あるいは有料化の恐れがあります。また、これにあわせて、40歳から74歳までの基本健診も有料化される心配が出ています。

### 後期高齢者医療制度

75歳以上を「後期高齢者」と呼び、他の世代から切り離して独立した医療保険にするもので、自民・公明政権は来年4月から実施しようとしています。これは際限ない負担増と差別医療をもたらす医療の大改悪で、国民の怒りと批判が噴出しています。日本共産党は「来年4月実施を中止させよう」と呼びかけ、立場を超えた幅広い共同が期待されています。

### 制度の存続・拡充を 日本共産党羽村市議団

日本共産党羽村市議団は無料健診制度について、隣のあきる野市のように16歳以上から対象とするよう、毎年予算修正案を提出、拡充を提案し続けてきました。

市民の健康を守り、医療費の高騰を抑制する役割も果たしてきた、無料健診をまもり、いっそう拡充するために、今後ともがんばります。

## 市民団体から無料健康診査の存続を求める陳情

羽村市議会9月定例会に西多摩社会保障推進協議会から「75歳以上を含め、これまでどおりの基本健診が無料で実施できるよう」求める陳情が出されました。

日本共産党は陳情を採択すべきと主張しましたが、自民、公明、民主などの反対で不採択となり、市民の願いは届きませんでした。

**陳情に賛成** 日本共産党(中原雅之、市川英子、鈴木拓也) 市民ネットワーク「いきいき広場」(門間淑子) 世論(山崎陽一)

**陳情に反対** 民主党(馳平耕三、大塚あかね) 羽村21(水野義裕) 羽村クラブ(中根康雄) 公明党(露木諒一、石居尚郎、西川美佐保) 新しい風(小宮國暉) 市民クラブ(川崎明夫) 新政会(船木良教、瀧島愛夫、濱中利雄、橋本弘山)

## 制度の改悪、後退に手を貸す、自民、公明、民主

討論で船木議員(新政会・自民党)は「何でもかんでも市が税金で負担し、無料で実施していけばよいというのは、いささか乱暴すぎる」と発言、西川美佐保議員(公明党)は「(基本健診を無料実施を)をこれまでどおり変えないということは改革しないということ」と発言、大塚議員(民主党)は「陳情者の(基本健診を)無料にという訴えは、有る意味甘えという感じが拭えない」と発言、それぞれ、無料健診の存続に否定的な考えを示し、陳情に反対しました。

## 羽村民報

2007年10月28日 No.869  
発行 羽村民報編集委員会  
責任者 野崎 衷  
日本共産党羽村市委員会事務所  
電話 579-2132 FAX 579-2106  
<http://www.jcphamura.org>

## 無料法律相談

11月13日(火)午後1時半～  
羽村市委員会事務所 \*要予約  
中原まさゆき TEL 554-1163  
市川 えい子 TEL 554-1140  
鈴木たくや 080-1058-9450

羽村駅西口のエレベータに続き、エスカレーターも完成し、新しい駅舎が姿を現しました。今後、西口と東口をつなぐ自由通路などの工事が行われます。

